

低炭素社会戦略センター10周年記念シンポジウム パネルディスカッション資料

低炭素社会構築に向けた金融の役割

2019年12月4日



サステナビリティ企画部
八矢 舞子

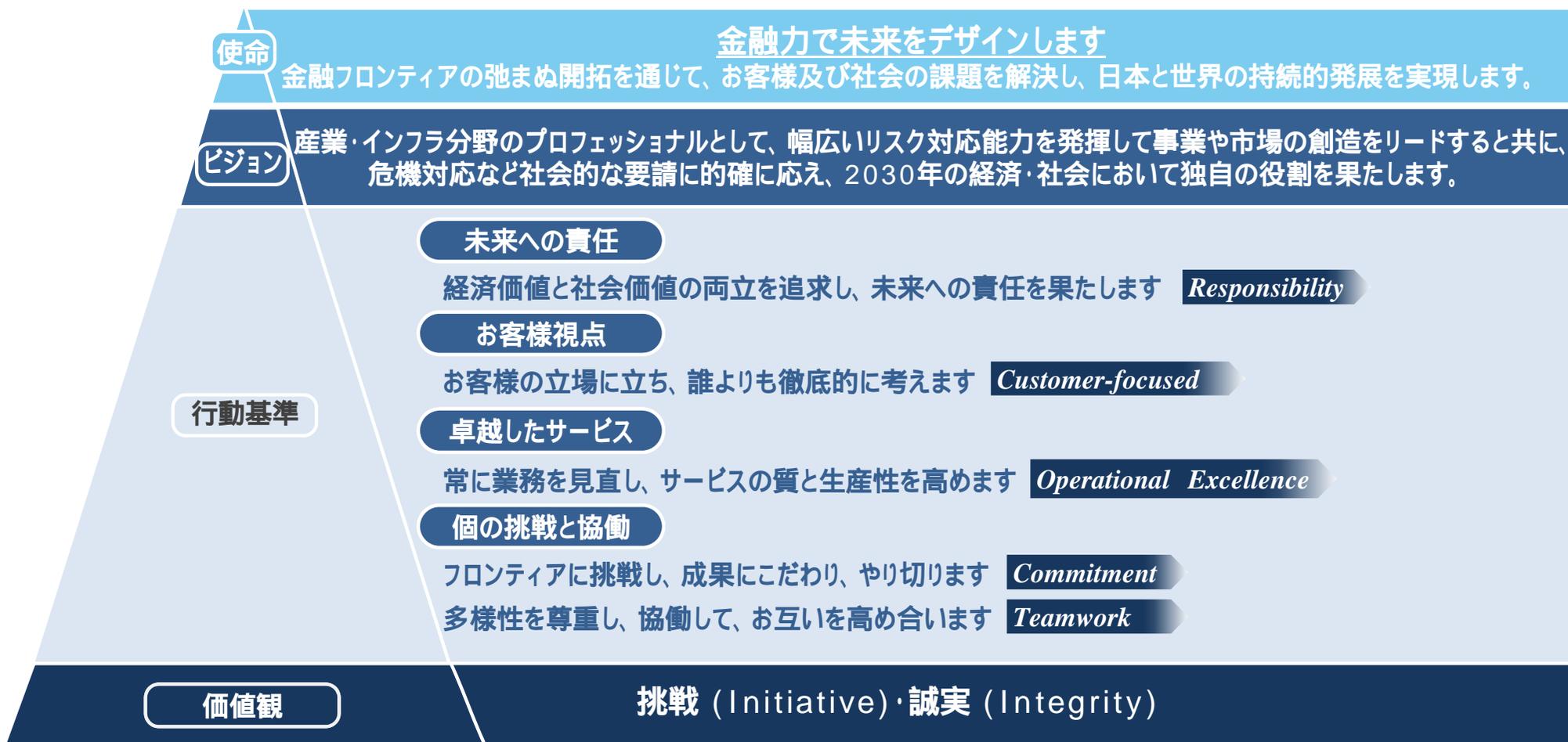
設立	2008年(平成20年)10月1日(旧日本開発銀行 1951年(昭和26年)設立) (旧北海道東北開発公庫 1956年(昭和31年)設立) (旧日本政策投資銀行 1999年(平成11年)設立)
代表取締役社長	渡辺 一
職員数	1,186名
資本金	1兆4億24百万円(全額政府出資)
本店所在地	〒100-8178 東京都千代田区大手町一丁目9番6号
URL	https://www.dbj.jp/
支店・事務所等	支店10ヵ所、事務所8ヵ所、海外現地法人4ヵ所
総資産額	16兆8,273億円
貸出金残高	13兆631億円
総自己資本比率	15.91%(バーゼル ベース、国際統一基準)
発行体格付	A1 (Moody's)、A(S&P)、AA (R&I)、AAA (JCR)

(上記は単体ベース)

DBJの企業理念

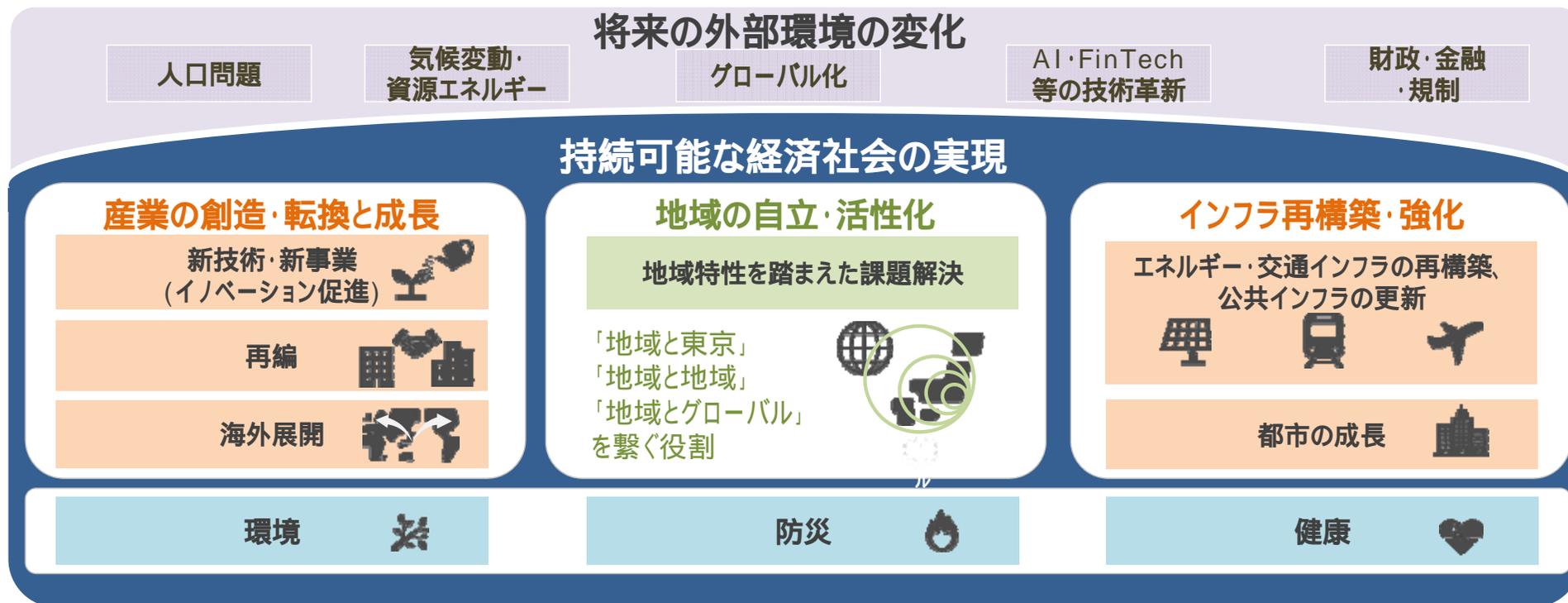
DBJグループ企業理念体系

- ・ 役職員が共有する**価値観**に根差した行動基準をガイドラインとしながら、当行グループの**使命(存在意義)**を追求し、**ビジョン(あるべき将来像)**の実現を目指す。
- ・ 企業理念に基づく**当行グループの強み**として、4つのDNA（**長期性、中立性、パブリックマインド、信頼性**）を位置付ける。



DBJの役割

グローバル化や技術革新の進行などにより、産業・金融の変化が大きく加速するなか、お客様と社会が直面する様々な課題に対し、DBJグループらしい創造的なソリューションを提供します。



産業・金融・社会の変化が加速し、新たなリスクと機会が生じるなかで、DBJグループらしい創造的なソリューションを提供

DBJグループの役割

連携・協働による金融市場の活性化・安定化

危機対応
の適切な遂行

リスクマネー
の供給

多様な投融資機会
の創出

ナレッジの提供と応用

DBJ評価認証型融資 体系と意義

体系



DBJ評価認証型融資を通じて
企業のサステナビリティへの取り組みを支援

意義

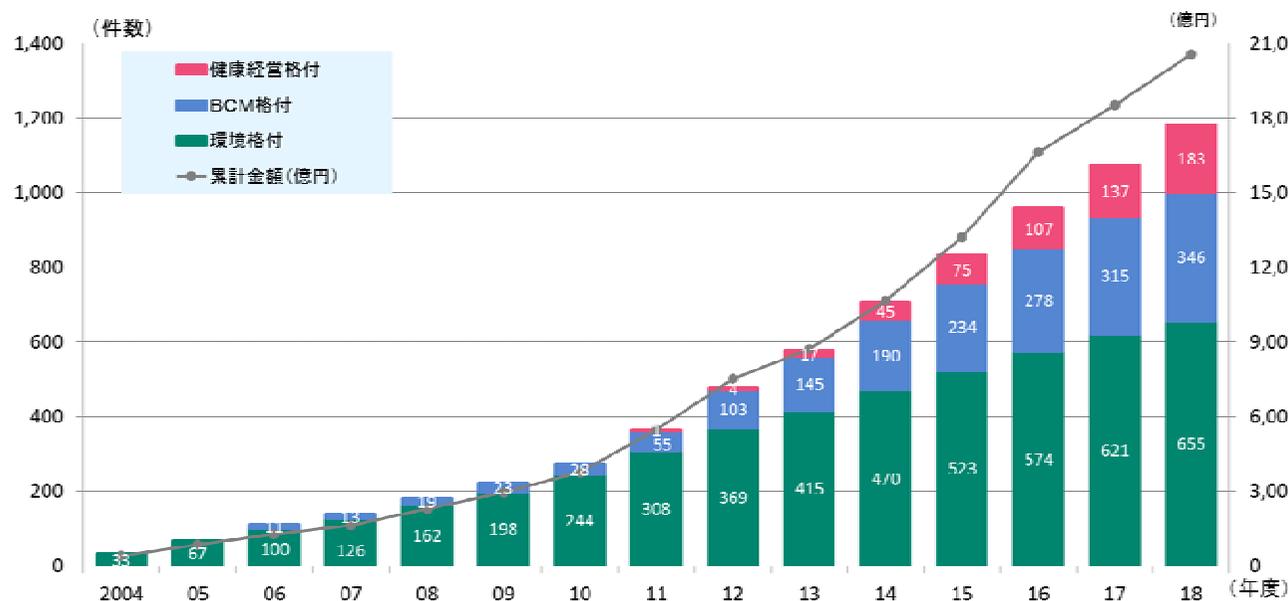
責任ある金融

- 社会や顧客の課題解決、価値向上
- 財務情報のみならず、非財務情報を積極的に取り込むことで、企業価値をより適切に評価する

ご融資利用のメリット

1. 金利メリット
(格付に応じて金利を優遇)
2. 内部管理への活用
(取り組みの第三者評価、見える化、相対化)
3. CSR面のPR効果
(ステークホルダーへのアピール)

DBJ評価認証型融資 実績



■ ご取得企業様(一例)

DBJ環境格付 DBJ BCM格付 DBJ健康格付

Asahi アサヒグループホールディングス 様

AISIN アイシン精機 様

KAO 花王 様

SEKISUI 積水化学工業 様

東洋合成工業 東洋合成工業 様

IHI IHI 様

TDK TDK 様

KINTETSU GROUP HOLDINGS 近鉄グループホールディングス 様

KAGOME カゴメ 様

三菱ケミカルホールディングス THE KATEKA COMPANY 三菱ケミカルホールディングス 様

白謙蒲鉾店 白謙蒲鉾店 様

伊藤忠商事 伊藤忠商事 様

AEON イオン 様

EBARA 荏原製作所 荏原製作所 様

MARUI GROUP 丸井グループ 様

TEIJIN 帝人 様

TOTO TOTO 様

RICOH リコーリース 様

2019.03末 実績	格付件数		格付融資 累計金額
	2018FY	累計	
環境格付	34件	655件	1兆4,243億円
BCM格付	31件	346件	4,240億円
健康格付	46件	183件	2,092億円
合計	111件	1,184件	2兆577億円

ESG投資とは

Environment (環境)

Social(社会)

Governance (ガバナンス)

- ESGとは、投資家が企業の非財務に関する取り組みを評価する際の視点であり、
財務情報だけでは捉えきれない情報に着目した投資=ESG投資
- 2006年国連責任投資原則(PRI)の公表により、ESGの概念が広まる

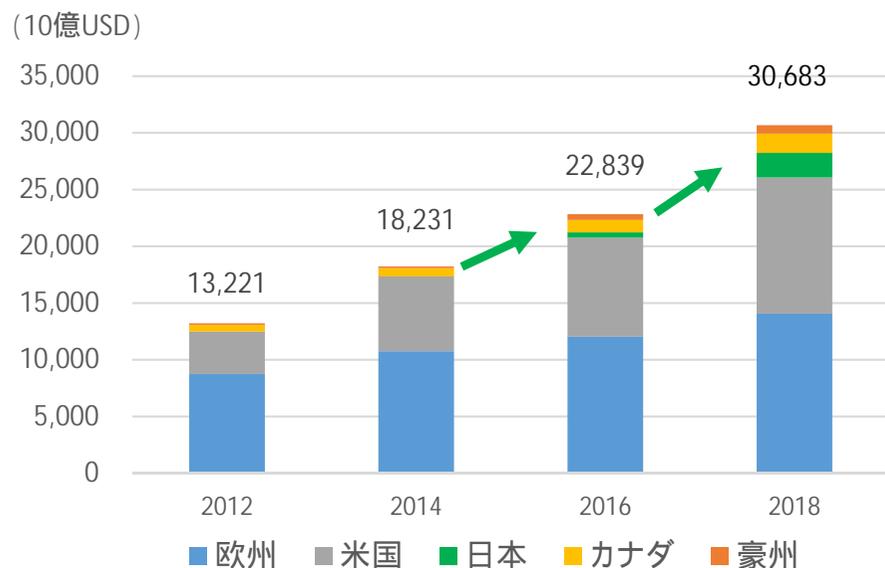
(参考)ESGの要素(CFA Instituteより)

E (環境)	S (社会)	G (ガバナンス)
気候変動と炭素排出	顧客満足度	取締役の構成
大気と水の汚染	情報保護・プライバシー	監査委員会の組織構造
生物多様性	ジェンダー・ダイバーシティ	贈収賄と汚職
森林伐採	従業員の企業への愛着	役員報酬
エネルギー効率	地域社会との関係	ロビー活動
廃棄物管理	人権	政治献金
水不足	労働条件	内部通報制度

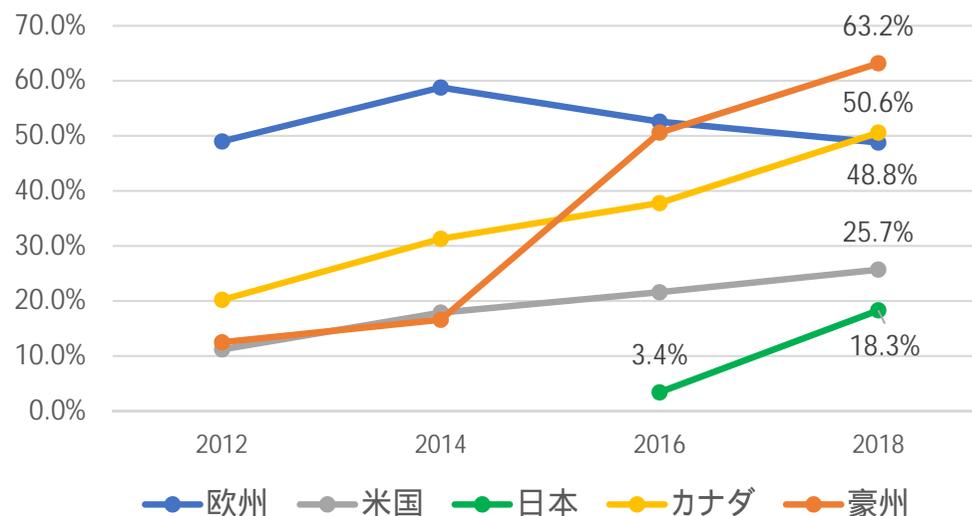
ESG投資の状況(世界主要5地域)

- 金融危機を契機に、過度なショートターミズム(短期主義)が企業、投資家双方にもたらす弊害に対する認識が拡大。短期間の裁定取引に対するアンチテーゼとして、企業の長期的な成長に着目し、これにコミットする投資家(長期投資家)の重要性を再確認する動きが活性化。
- 投資家にとって、**企業の長期的な成長にコミットするために必要な情報**として、また、企業にとって、こうした**長期投資家を惹きつけるために重要な情報**として、非財務情報(ESG情報)が位置づけられつつある。

サステナブル投資資産残高 推移



運用資産に占める割合



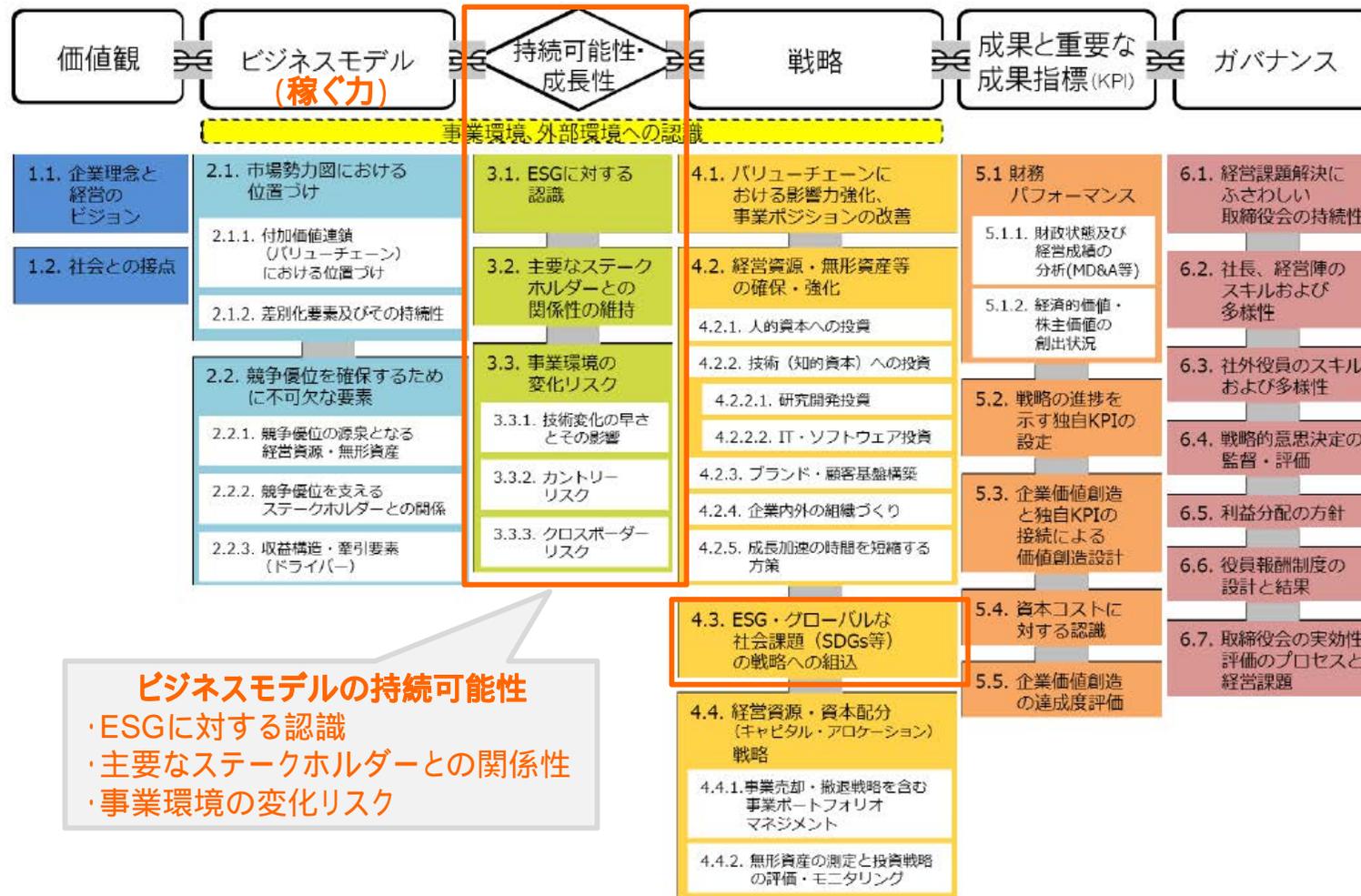
注: 日本の比率は、日銀資金循環統計上の投資残高に占める比率

企業価値の源泉



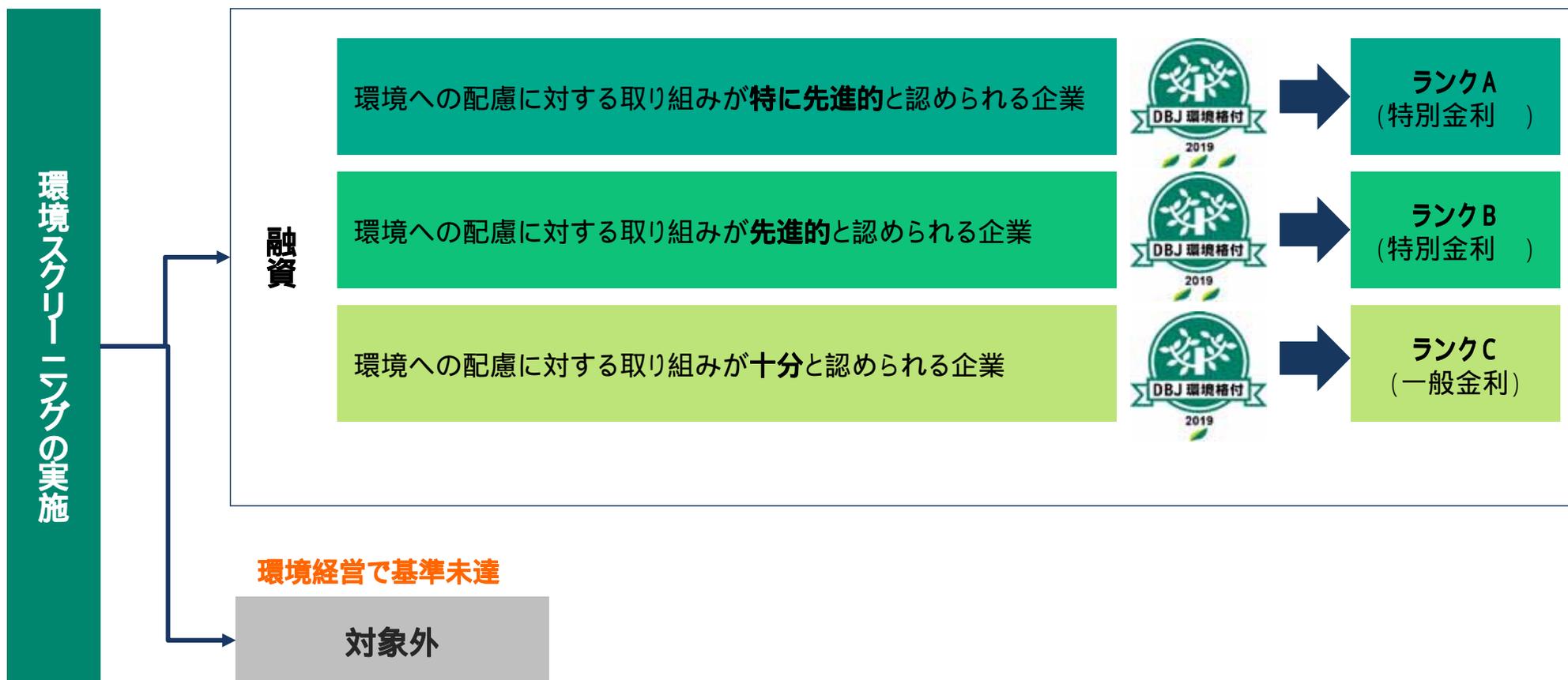
価値協創ガイドンス(伊藤レポート2.0)

- 「企業が持続的に価値を高めるためには、**明確なビジネスモデルが存在することに加え、それが持続可能であること(サステナビリティ)**、さらには持続するだけでなく**成長性を持つものであることが求められる。**」
- 環境・社会課題や社会構造の変化は、**企業の長期的かつ持続可能な価値創出に影響を与える可能性がある**。環境・社会課題について、どのように**リスクや成長機会**として認識し、どのような戦略で持続的に価値を創出しているかを示すことが求められている。



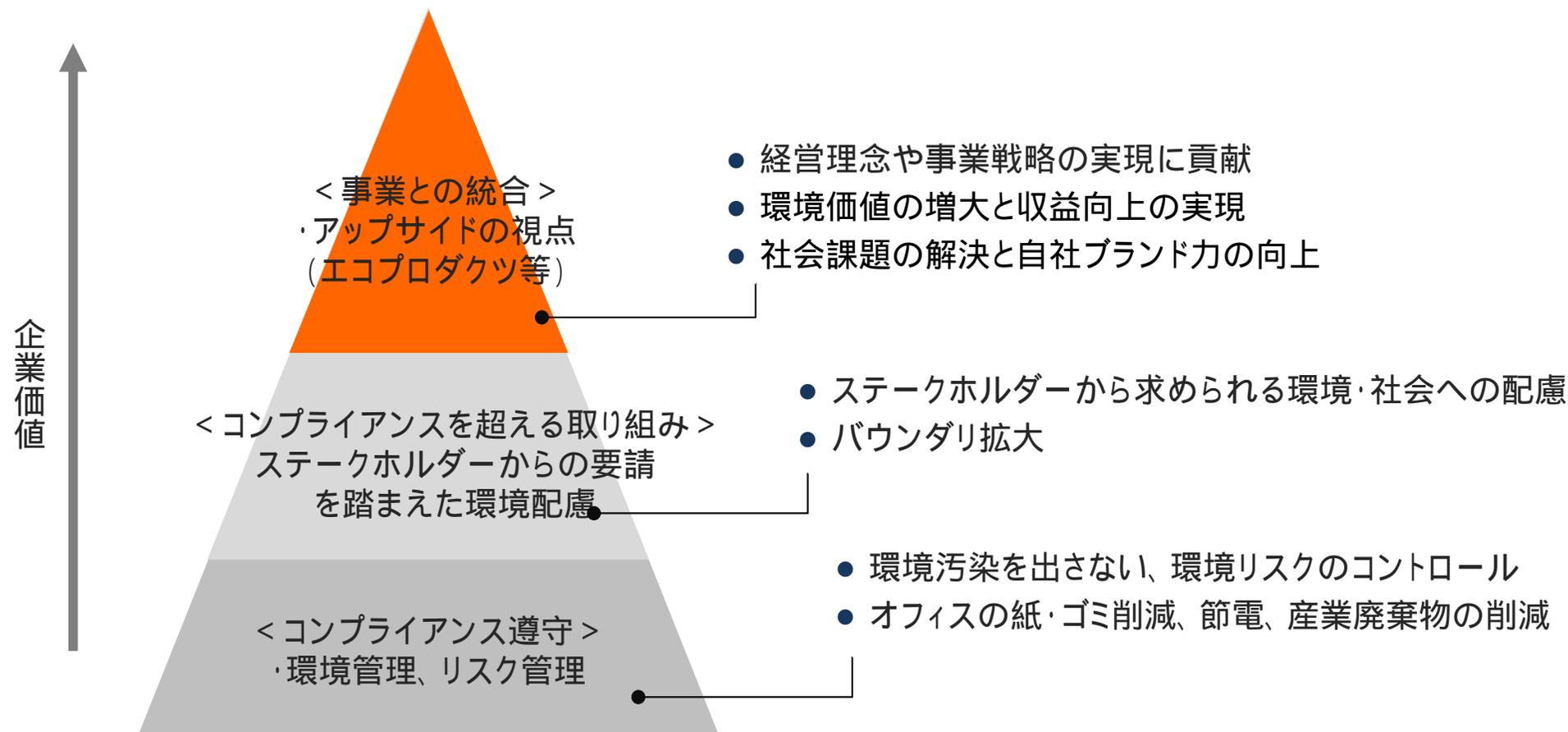
DBJ環境格付融資 商品設計

- 環境スクリーニングにより企業の環境経営度を評点化し、これを融資条件に反映させる世界で初めての融資メニュー（2004年4月からスタート）
 - 「環境経営」と「サステナビリティ」の2分野 合計約120項目、100点満点
 - 通常の企業審査と並行して、環境スクリーニングを実施



環境経営では「経営全般事項」、「事業関連事項」、「パフォーマンス関連事項」をご評価させていただきます。

DBJ環境格付の視点



「守り」の活動を基盤とした「攻め」(アップサイドの視点)の取り組みにより、
企業の持続的かつ長期的な価値創造を支援

DBJ環境格付融資 スクリーニングの概要

■ スクリーニングシート概要(2019年度版)

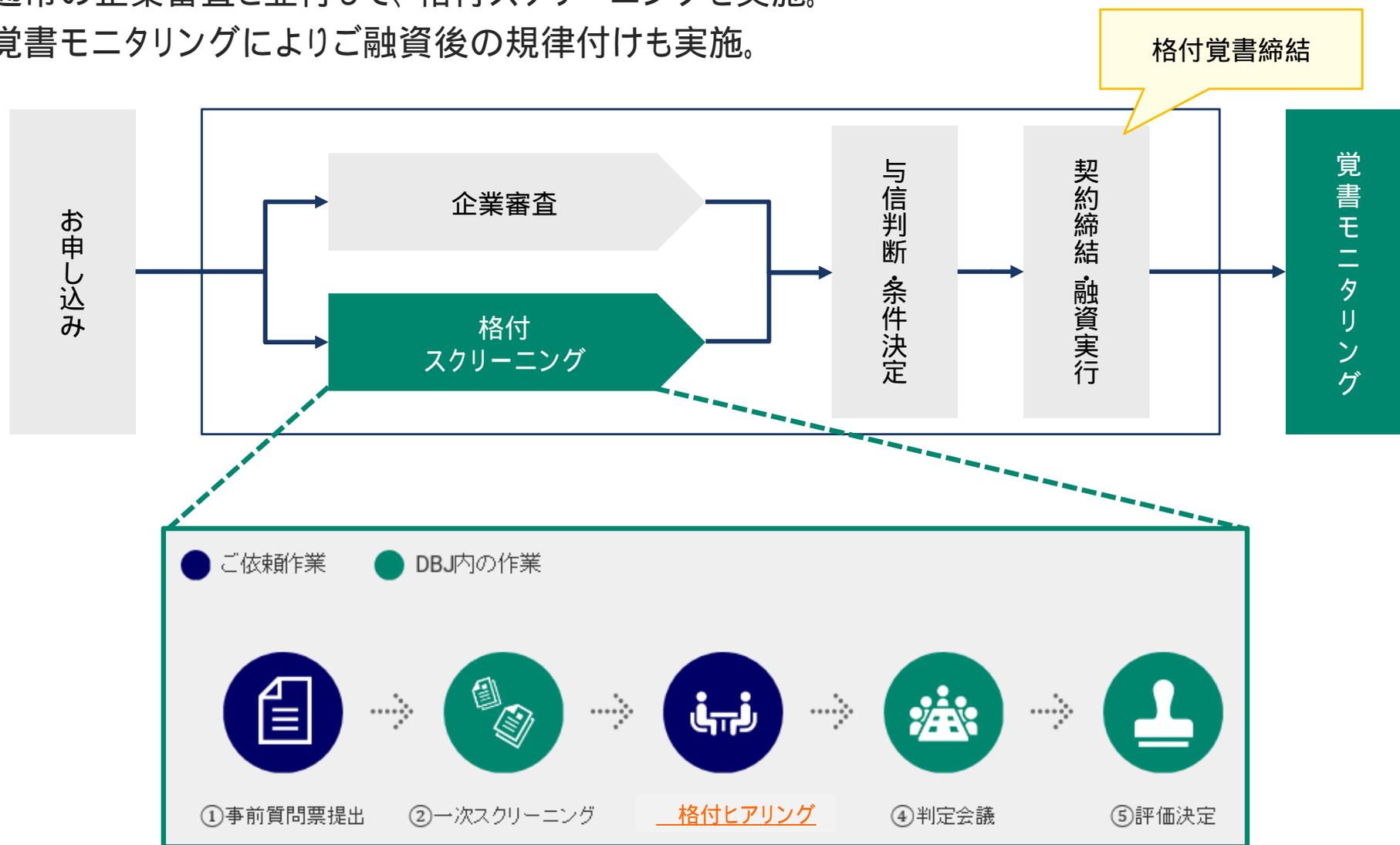
分野	評価項目(中項目)
環境 経営 (70点)	経営全般事項
	A 環境マネジメント体制
	B 環境課題の特定
	C 情報開示とコミュニティへの参画
	D コンプライアンス
	事業関連事項
	E 環境に配慮した製品・サービス
	F 製品・サービス拡販に向けた取組
	G 製品・サービスを支える基盤
	H サプライチェーン
	I 環境経営上の優れた取組
	パフォーマンス関連事項
	J 地球温暖化対策
	K 資源有効利用対策
L 水資源対策	
M 有害物質対策	
N その他	
サステナビ リティ (30点)	W 長期の社会課題と事業環境の変化を踏まえた重要課題
	X 達成に向けた戦略
	Y KPI(マテリアリティに対する取組・達成状況を測る指標)
	Z 特筆すべき取組

- 「環境経営」と「サステナビリティ」の2分野から評価
各分野の得点率合計100点満点による評価
- **環境経営(約90項目、70点)**
 - 環境課題の解決と事業成長の同時実現に資する、アップサイドの取り組みを評価
- **サステナビリティ(約30項目、30点)**
 - 長期的な視点でサステナブル経営における**重要課題**(マテリアリティ*)及びその実現に向けた戦略・KPIを評価
*広範な社会課題や事業環境の変化を踏まえ、長期ビジョン達成に向けて特定した重要課題
 - (2019年度)TCFDを含む気候変動に対する対応戦略に関する設問を新設
- 外部有識者のアドバイスを得ながら、毎年改良作業を実施

氏名	所任
片木 幸子 氏	公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事・専務理事・事務局長
岡崎 守生 氏	筑波大学 人間環境学専攻 教授
末古 竹二郎 氏	国連持続計画・金融イニシアティブ(UNEP FI) 特別顧問
本村 隆 氏	高崎経済大学経済学部 教授 経済学部長
山口 智彦 氏	株式会社クレアム コンサルタント 一般社団法人CSRレビューフォーラム 共同代表

DBJ評価認証型融資 対話を重視したプロセス

- 通常の企業審査と並行して、格付スクリーニングを実施。
- 覚書モニタリングによりご融資後の規律付けも実施。

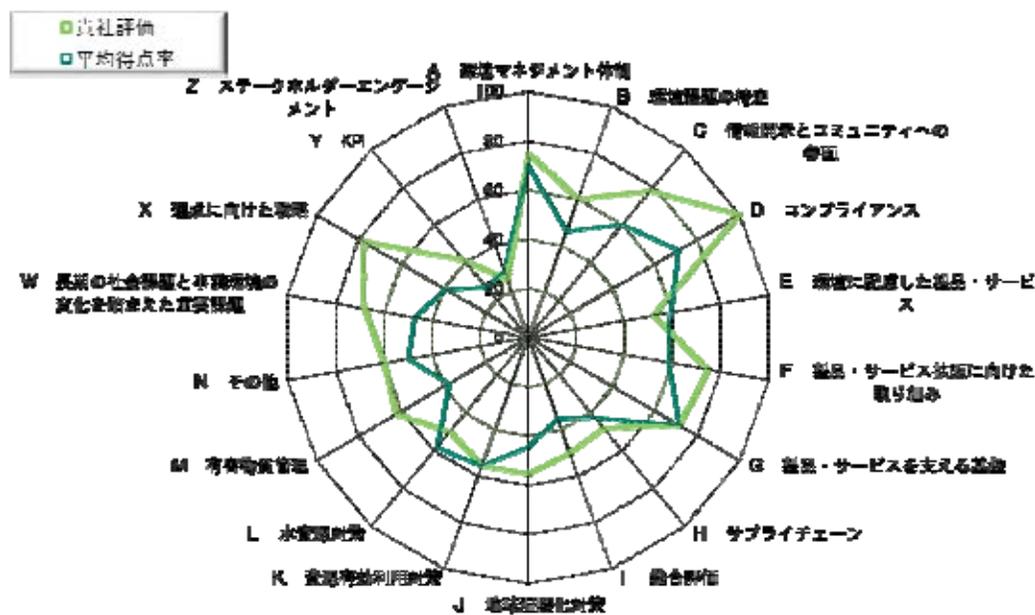


DBJ環境格付融資 評価後の対話

- 格付を取得されると、ご融資の実行後に「認定証」及び「結果通知書」をお渡しいたします。
- また、ご希望に応じて、評価結果の詳細について、無料で「フィードバック」を行っています。
- 格付を取得している他社の得点率と項目別に比較し、評価ポイントや今後期待したい事項などをお伝えします。
また、他社の優れたお取り組みや、環境やESGに関する最新の動向などについての説明を通じて、今後の取り組みの高度化をサポートいたします。

認定証及び結果通知書(例)

フィードバック資料(例)



ありがとうございました



DBJ評価認証型融資専用HP

URL : <https://www.dbj-sustainability-rating.jp/>

各格付認証のコンセプト、認証取得企業様の一覧、インタビュー記事等も掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。



著作権(C) Development Bank of Japan Inc. 2019
当資料は、株式会社日本政策投資銀行(DBJ)により作成されたものです。

当資料は、貴社及び当行間で検討 / 議論を行うことを目的に貴社限りの資料として作成されたものであり、特定の取引等を勧誘するものではなく、当行がその提案内容の実現性を保証するものではありません。

当資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および当行が合理的と判断した一定の前提に基づき作成されておりますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。また、ここに記載されている内容は、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

当資料のご利用並びに取り組みの最終決定に際しましては、貴社ご自身のご判断でなされますよう、また必要な場合には顧問弁護士、顧問会計士などにご相談の上でお取り扱い下さいますようお願い致します。

当行の承諾なしに、本資料(添付資料を含む)の全部または一部を引用または複製することを禁じます。